

「最高においしい」

と、おばあちゃんのつばを食べてるたびにそう思う。
おばあちゃんは料理上手だから色んなつばを
も作ってくれるけど、そのなかでもおばあちゃん
のうどんが大好きだ。だしのきいたうどん
は何杯でも食べられる。ぼくが「おいしい」と
言ったら、いつも「ありがとう」と言ってくれる。
それは、ぼくのセリフだ。」

「もうとしたからいつまで作れるか、分からな
ないよ。」

と、言うけれど、これから先、これ以上おい
しいうどんに出会ったことはないと思う。
おばあちゃんは今もぼくの話を聞いてく
ね。がんばっているね」と言ってくれる。ぼ
くはそれがとてもうれしい。ぼくは、しょう
おばあちゃんみたいになりたい。
かなしいときも、くるしいときも、おば
あちゃんと話をしておばあちゃんのつばと
人を食べると、元気が出て笑顔
になる。

まだまだこれから、おばあちゃん
のつばを食べていたいから元
気がいてね。

いつもありがとう。

